

# 避難路のソーラー街路灯が円滑な避難所開設に寄与

災害時の効果発揮事例

概要 要：「平成26年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業」により、山形県長井市の避難路にソーラー街路灯（避難誘導灯）を設置。当該施設は令和6年7月25日からの大雨の際には夜間も避難路を照らし、避難所の円滑な開設準備に効果を発揮。

府省庁名：環境省

- 実施主体：山形県長井市
- 実施場所：山形県長井市
- 事業概要：災害に強く、低炭素な地域づくりを推進するため、「平成26年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業」により、これまでは街路灯がなく、夜間の歩行が危険だった避難所（長井市立伊佐沢小学校 等）へ通じる避難路に45基のソーラー街路灯（避難誘導灯）を整備。

■ 事業費：約8,100万円（平成26年度）

■ 災害の外力、被害と効果：

「令和6年7月25日からの大雨」により、長井市では総雨量196.5mmを観測し、25世帯が避難対象に指定された。最大避難所開設数は2施設。

避難所へ通じる避難路に設置したソーラー街路灯により、夜間も避難路を照らし、避難所の円滑な開設準備に効果を発揮。

## ＜ソーラー街路灯の様子＞

- 日中に太陽光発電で発電した電力を蓄電池に充電
- 商用電力がない場所でも街路灯を設置可能



長井市立伊佐沢小学校で避難所を開設する際に効果を発揮

写真提供：長井市